

明安小伝統の「しめ飾りづくり」 一人暮らし高齢者の方にもプレゼント

12月13日、明安小学校の伝統行事「しめ飾りづくり」が行われました。「しめ飾りは新年を幸せに過ごすためのもの」と聞いた児童らは、いっそう真剣な表情に。地域の皆さんと一緒に丁寧に製作していました。6年生のみんなは「毎年作ったけど、やっぱり難しい。手伝ってもらって何とか完成した」と口を揃えていました。しめ飾りは一人暮らし高齢者の方々にもプレゼントされました。



▲おじいちゃんやおばあちゃんに手伝ってもらいながら完成

これからも柔道に親しんで 「金山選手権大会」昨年に引き続き開催

金山町柔道連盟主催の金山選手権大会が12月7日、新庄南高校金山校武道場で開かれました。一昨年、金山まつり柔道大会が長い歴史に幕を閉じましたが、再び畳の上で子どもたちのきらめきを取り戻したいと、2回目の開催。昨年の大会以降、子どもたちは齊木師範の胸を借りて、成長の姿を見せ、庄司倭さん（板橋）が優勝を果たし、会場には大歓声が湧きあがりました。



▲町外の柔道連盟の先生方も駆け付けて選手たちを応援した

▼西田さんや先生方の手助けを受けながら協力して製作



新年を幸せに迎えるために 有屋小でオリジナル門松づくり

年の瀬迫る12月11日、有屋小学校の全校児童が門松づくりに挑戦しました。西田和平さん（羽場）の指導のもと、6班に分かれて製作。縄結びや飾り付けに苦戦しながらも、立派なオリジナル門松が完成しました。児童らは「難しかったけどよくできた。地域の皆さんに見てもらえて嬉しい」と出来栄に満足そうな様子。門松は有屋地域の公民館と学校に飾られます。

▼交流した鼓山高級中学の生徒と集合写真



新庄南金山校2年生が修学旅行 初めてのことでドキドキの台湾へ

新庄南高校金山校2年生が12月8～12日の5日間、修学旅行で台湾を訪れ、初めての海外で見識を広げました。ノスタルジックな雰囲気の街並みで知られる九份などを見学したほか、現地の高校生とも交流。最初は緊張していた生徒たちも次第に打ち解け、最終的には連絡先を交換するほどに。金山校としても台湾への修学旅行は初。生徒らのパスポート取得などのため、町でも一部を助成しました。



1_町交通安全母の会による啓発活動 2_庭月観音の庭崎住職が講演 3_星川恵子さんが大会宣言を 4_認定こども園めぐたま年長児が「金山小唄踊り」を披露

白岩土木建築が冬季交通安全教室 めぐたま年長児が雪道の注意点を学ぶ

町内の国道除雪を請け負う白岩土木建築㈱が毎年開催している冬季交通安全教室が12月17日、金山防災除雪ステーションで開かれました。冬空のもと、認定こども園めぐたま年長児が参加し、ロータリー除雪車や除雪グレーダーなど5種類の車を見学。乗車のうえ操作を体験したり、死角を確認していました。園児たちは「除雪車の近くには行かない!」と大きな声で約束していました。



▲「ここまで動くんだね」と操作しながら死角も確認する園児



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

家族の絆について考える 「家庭の日」運動推進大会

町女性団体連絡協議会が主催する第43回金山町「家庭の日」運動推進大会が12月1日、中央公民館で開催され、庭月観音住職の庭崎賢恵さん（鮭川村）が講演されました。庭崎住職は「雪によって心が鍛えられている東北の人には、礼節と品格がある」と話し、みちのくのころについて説法。また、庭月の月うさぎ伝説を読み聞かせるなど、家庭や地域のつながりを考える良い機会となりました。

▼「あれこれ、わいわい」と和やかに議論を交わした



蔵カフェで「語り場スナック」 マスターはソトコト編集長の指出さん

11月26日、ソーシャル&エコマガジン「ソトコト」編集長の指出一正さんをマスターに迎え、「語り場・スナック指出」がオープンしました。会場のカネカ蔵カフェには、平日の夜にもかかわらず、町内外から多くの人。指出さんからは、全国各地の地域課題などを事例として紹介いただきました。参加者らは、愛する地域を想う相談をぶつけるなど、「地域のいま」を共有した時間となりました。